

第15回 レギュラトリーサイエンス学会 理事会 議事録

令和元年7月1日午後5時26分、東京都千代田区霞ヶ関3-3-2新霞ヶ関ビルの独立行政法人医薬品医療機器総合機構会議室において、理事会を開催した。

出席者理事・監事

代表理事 大野泰雄、理事（代表代行）楠岡英雄、理事 梅津光生、理事 國忠聡、理事 久芳明、理事 佐藤典宏、理事 堤康央、理事 豊島聡、理事 成川衛、理事 山崎力、理事 矢守隆夫、理事 若生治友

監事 山本雅俊

代表理事大野泰雄が議長として開会を宣言し、次のとおり定足数に達する理事の出席があったので、本理事会は適法に成立した旨を告げた。

理事総数 19名

出席理事 12名

一 決議事項

第1号議案 平成30事業年度事業報告に関する件

本議案につき、事務局から、平成30年9月に社員総会を開催したこと、第8回学術大会を開催したこと、平成31年2月に薬価基準改正に関するシンポジウムを開催する等計3回のシンポジウムを開催したこと、学会誌については第8巻第3号、第9巻第1号及び第2号を発行したこと等の説明があった。理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

第2号議案 令和元事業年度事業計画に関する件

令和元事業年度事業計画に関する議案につき、事務局から、学術大会やシンポジウム等の開催、機関誌の発行等の事業を例年と同様に実施したい旨説明があった。理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

第3号議案 令和元事業年度予算に関する件

令和元事業年度予算に関する議案について、事務局から、平成30事業年度については単年度でみると350万円程度の黒字で推移しており、累積では6月1日時点で180万円程度の黒字と見込んでいること、令和元年度については、会費については前年度とほぼ同額、学術大会・講演会等の収入及び支出や機関誌出版費については過去3年の平均でもって見積もったこと、事務局業務委託費については29年度に3年ごとの見直しを行ったこと等の説明があった。

理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

なお、決算書類等については、税理士のチェック、監事の監査を受けたものを8月に理事会に諮るが、本理事会はメール開催とすることで了解された。

第4号議案 定時社員総会の開催に関する件

本議案につき、事務局から、定時社員総会を令和元年9月7日に一橋講堂で開催したいこと、議題は平成30年度事業報告や同年度計算書類等の承認を予定していること、出席しない社員は書面等によって議決権を行使できることとしたいこと等の説明があった。理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

二 報告事項

1 学会の現況の件

本年6月1日現在の学会の会員数が1,008名（正会員877名、若手会員91名、学生会員40名）であること等について報告がなされた。

2 第9回及び第10回学術大会の件

本年9月6、7日に開催予定の第9回学術大会について、プログラム、一般演題の応募状況等が事務局から報告された。

第10回学術大会については、令和2年9月11、12日に一橋大学一橋講堂において開催することとし、その大会長の選任については、代表理事を中心に作業を行い、8月の理事会に諮ることとされた。また、第10回という節目の学術大会となるので、そのあり方について引き続き意見交換を行うこととされた。

3 その他

久芳理事から、医機連主催の臨床研究法セミナーの開催が紹介された。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は午後18時10分閉会を宣言した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款第42条第2項の規定に基づき、代表理事及び監事が記名押印する。

令和元年7月12日

レギュラトリーサイエンス学会

代表理事 大野 泰雄

監事 山本 雅俊